



第 349 号
発行 2015年9月15日

佐賀市緑小路1-3
社会福祉法人めぐみ厚生センター
めぐみ園 0952(34)7722
どりいむ 0952(34)7727
E-mail s-megumi@basil.ocn.ne.jp
富士学園 0952(63)0107
ウイズ富士 0952(51)0063
ピースハイム 0952(64)2012
E-mail fuji-g@b2.bunbun.ne.jp

発行者 富樫 史朗
印刷所 (株)古川総合印刷

ホームページURL <http://www.megumikousei-center.org/>

隣り人と出会い、共に生きる幸い



めぐみ厚生センター 監事
日本キリスト教会久留米教会 牧師
枝 松 博 展

枝松博展

七月末、富士学園の「やすらぎ館」を利用して頂いて「日本キリスト教会九州中会のジュニア修養会」を行いました。川崎俊朗施設長はじめ職員の方々の心のこもつた御配慮と利用者の方々の笑顔での出迎えを受けて、貴重な良き時を過ごすことが出来ました。

今回、私たちが掲げた主題は、聖書、ルカ福音書一〇章二五節～三七節にある「善きサマリヤ人」で、「隣り人を捜そう」でした。これは主イエス・キリストが、永遠の命（救い）求めてやつて来た律法学者（聖書の専門家）に対して語られた譬えで、「神を愛すこと、隣人を自分のように愛すること」が明らかにされつつ、とりわけ「隣り人への愛」が大きな課題として示されている聖書の箇所です。

律法学者は主イエスに、「わたしの隣り人とは誰ですか」と反論します。そこには「愛すべき隣り人と、自分が愛す必要のない（値しない）隣り人とは誰ですか」という思いが込められています。それに対してなされた主イエ

スの譬え（答え）は、「自分の近く、傍で『助けを求めている人・支援を必要としている人が愛すべき隣り人』である」ということでした。（主イエスの譬えは、同胞のユダヤ人—それは神に仕える祭司・レビ人でしたが強盗に襲われた人を助けず、ユダヤ人と関係がよくなかったサマリア人が傷ついた人を助けたという話です。この善きサマリヤ人とは主イエス・キリストのことであると聖書は告げる。）

私たちの周囲にも「隣り人」がいることを思われられます。そこには「知っている人・知らない人の区別はありません。助けを・支援を必要としている人が「愛すべき隣り人」なのです。

インド人で中国で伝道したサンダー・シンという人の話に、次のようなものがあります。「雪山で倒れている人を見て、一人の人は通り過ぎ、もう一人の人は背負って行つた。先に行つた人は凍死しました。背負つて行つた人は、背負つ

たひとのぬくもりで助かつた。助けたつもりが助けられていた（背負つて背負われる）」という話です。
助けたり、支援をしたりということは難しいことです。時間を裂き、自分の存在を認めなければなりません。（愛は時間で計られるといわれる。）課題に直面して力の無さ、愛の無さを痛感させられます。しかし、そのような困難の中にある人との関わり（援助や支援）が私達を自由にし解放し、生きる幸いな生へ導かれていくのです。自力では不可能ですが、十字架と復活の主イエス・キリストの隣り人とされる時に、隣り人を愛する幸いな生へ導かれていくのです。富士学園はまさに日々、その実践の場であることを皆、痛感させられました。



長年、めぐみ厚生センターを支え導き御尽力頂いた横尾重雄先生が八月三十一日に永眠されました。

先生は昭和五十五年より当センターの理事を、さらに四十周年を迎える時には理事長職の重責を、またその後も常任理事と人生の大半を当センターに身を捧げて下さいました。福祉の制度改革等変革期に携わられ先生の御尽力には計り知れない感謝の念を表します。

先生の言葉より「福祉の事業は相手が生きた存在である『かけがえのない命』を天より与えられた人間であるがゆえにその事業組織も事業内容も常に生きて活動できる弾力的にして瑞々しいものであることを期待され、求められているものと受け止めております。」

(四十周年式典にて)

今年で当センターは六十五周年を迎えます。先生の意を受け継ぎ、福祉・創設の原点を忘ることなく、今後も役職員一同利用者と「共に生きる」精神を忘れず努めて行く所存です。先生のこれまでのご功績・ご尽力に感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。



元めぐみ厚生センター
理事長・現顧問
故 横尾 重雄 先生

追悼

長年、めぐみ厚生センターを支え導き御尽力頂いた横尾重雄先生が八月三十一日に永眠されました。

先生は昭和五十五年より当センターの理事を、さらに四十周年を迎える時には理事長職の重責を、またその後も常任理事と人生の大半を当センターに身を捧げて下さいました。福祉の制度改革等変革期に携わられ先生の御尽力には計り知れない感謝の念を表します。

先生の言葉より「福祉の事業は相手が生きた存在である『かけがえのない命』を天より与えられた人間であるがゆえにその事業組織も事業内容も常に生きて活動できる弾力的にして瑞々しいものであることを期待され、求められているものと受け止めております。」

(四十周年式典にて)

今年で当センターは六十五周年を迎えます。先生の意を受け継ぎ、福祉・創設の原点を忘ることなく、今後も役職員一同利用者と「共に生きる」精神を忘れず努めて行く所存です。先生のこれまでのご功績・ご尽力に感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。

七月三十日、めぐみ園にて晴天の中、活気に溢れた「夏祭り」が開催されました。沢山の地域の方々が見えボランティアの方々・家族・利用者・職員皆で盛り上げ、わきあいあいと有意義な時間を過ごせ感謝致します。

(マザー)



めぐみ園

ふれあい夏祭り



夏祭り!!
大盛り上がりで大成功＼(^o^)/
皆さんありがとうございました！

☆筑紫野イオンで買物☆
八月十八日、利用者十三名・職員十
名で外出!
太宰府天満宮で参拝後、うぐいす茶
屋にて昼食を
屋にて昼食を
撰り筑紫野イ
オンへGO!
買い物を満
喫、皆さん終
始笑顔で過ご
しました。
(マザー)



充実した思
い出となるバ
ス旅行でした。
(マザー)



小原嘉人さん
がめでたく還暦
を迎えられまし
た。おめでとう
ございます。こ
れからも元気で
楽しみましょう。
(寿)



日帰りバス旅行

☆グリーンランド☆

七月十四日、利用者十二名・職員八
名で外出!



七夕会食会

到着時は雨ではありましたがあ、遊具に乗つて皆さん楽しめ、昼食はほつぱが落ちるほどのご馳走を頂きました。午後からは、朝とはうつて変わり晴天となり様々なアトラクションや買い物を満喫!

午後からは、朝とはうつて変わり晴天となり様々なアトラクションや買い物を満喫! され、七夕の雰囲気を満喫することが出来ました。食堂前に飾られた笹竹には利用者の願い事と、華やかな飾り付けが



還暦祝い



七月二十七日に紙工科（十四名）の皆さんで武雄へ行つてきました。武雄温泉新館で行われている焼き物絵付け体験で、皿やフリーカップ・マグカップから好きな物を選び、鉛筆で下絵をして筆を使つて色付けをしました。皆さん上手に書いておられ、焼き上がりを心待ちにしておられます。（ふくふく）

楽しかった紙工科外出



お祝いの記念品は、バッグでした。

ウイズ富士

七月二十九日に菅野奈津江様が還暦を迎えられました。これからも益々元気で楽しく過ごして下さい。（チリチリ）

還暦祝い



いつも健康に気をつけて美味しい食事を提供することを心がけています。

- 【ピースハイム緑小路】
 一位 カレーライス（五票）
 二位 マーボー豆腐（四票）
 三位 から揚げ（一票）

- 【ピースハイムめぐみ】
 一位 春巻（五票）
 二位 煮豆（三票）
 三位 簡単漬け物（三票）



利用者の皆様は、「おいしい、おいしい」と満足の様子。今回は二つのホームにお邪魔しました。次回もお楽しみに!!（シャンデリア）

ピースハイムグルメ

日頃、美味しい食事を提供している各ホームの支援員に得意料理を聞いてみました。その中から入居者の皆様には好きな料理を選んで頂きました。さて、グルメランキングは？

ピースハイム

ふれあい

平成音楽大学ハピネス来園
(めぐみ園)



七月二十三日に四名の学生が来園され、歌と演奏を披露されました。

身体を動かしたりハッピーな一(樂)

県知的障害者施設親善球技大会
(めぐみ園)



八月一日(土)佐賀コロニー・グランで球技大会が開催され、めぐみ園チームとして四名の方が参加されました。選手の皆さんは真剣に競技に取り組まれ、その中にも楽しさあり、笑いありの他施設の方と交流をめざして真の親善球技大会でした。(才谷)

聖句

信仰と、希望と、愛、この三つはいつまでも残る。その中で最も大きいなるものは、愛である。

(コリストの信徒への手紙 第十三章十三節)



歯科検診
(富士学園・ウイズ富士)

七月六日(月)ふれあい館にて歯科検診がありました。緊張した面持ちの方もいらっしゃいましたが、リラックスして検診を受けられていきました。(スマーカー)



ふれあい館での対面式の後、施設見学で棟内を見て回られました。食事の時は富士学園の食堂を利用され、善き交流の場となられたようです。

また、いらして下さい。お待ちしております。(スマーカー)

「日本キリスト教会
九州中会ジュニア修養会」
(富士学園)

温冷配膳車購入
(めぐみ園)



赤い羽根共同募金の配分金で購入しました



〔温冷配膳車〕ありがとうございました
♥大切につかいます♥

内容：バザー・食品販売
※皆様お誘い合わせの上、
お越しください。

場所：佐賀市緑小路一の三
法人本部広場
(旧めぐみ園運動場)

ふれあいの広場
《ご案内》
日時：十月二十四日(土)
十二時～十五時



あとがき

暑い日が続きましたが、皆さん夏バテなどされていませんでしたか？朝夕過ごしやすくなりました。行楽の秋、リフレッシュして頑張りましょう！

(コスマモス)

皆様ありがとうございました
(七・八月分)

◎めぐみ園へ

大野自治区様より
寄付

市丸俊文様より
寄付

富権史朗理事長より
寄付

光岡正純様より
寄付

花水木様より
寄付

新栄ボランティア様より
寄付

林口彰様より
寄付

納富恭子様より
寄付

松原武文様より
寄付

片岡秀隆様より
寄付

光石多都子様より
寄付

山代ガス様より
寄付

玄米多量寄贈
寄付

● 南里発代様より
寄付

● 日本キリスト教会九州中会
ジュニア修養会様より
寄付

● 『交歓の夕べ』へ
寄付

● 来賓・ご家族の皆様より
寄付

● 佐々木陽子様より
衣類多量寄贈
寄付

● 藤永正弘様より
寄付

● ◎ウイズ富士へ
寄付

● コダマシキ様よりジユース
寄付